

令和３年度 事業計画（案）

事業計画立案に当たって

令和３年度からの会報発送基準の変更および評議員の評議員会における議決権行使の実態を踏まえるとい
ずみ会運営に大きな転機を迎えていることは明らかである。

これまでは財政破綻の回避を優先することに主眼を置いてきたが、近年、中若年層のいずみ会運営に対す
る関心の薄さが改めて浮き彫りになってきており、将来に向けた組織活性化が急務な状況となっている。
現状をいずみ会組織運営の危機的局面と捉え、令和３年度では今後の運営の担い手となる中若年層の発掘
を直近の課題として、将来へ向けた運営システムの改善を、財政・組織活性化の両面で検討する。

第１．定時評議員会

新型コロナ感染拡大防止のため、令和３年６月の定時評議員会を書面審議の形態で開催する。

第２．理事会、監査会等の活動

- １．原則として理事会は毎月の開催、監査会は年２回開催とする。
- ２．評議員会出欠に対する返信状況を把握し、返信のない評議員については見直しを検討する。
- ３．評議員会開催案内をはがきからメールによる案内へ極力切り替える。
- ４．定例の理事会、部長会をＺＯＯＭによるウェブ会議形式も併用して会議の効率化を図る。

第３．活性化に向けての取り組み

- １．「横と縦の絆」を深めるための具体的方策を検討する。
- ２．１項記載の検討を進めるために、全世代を対象とした検討チームを立ち上げる。
- ３．一般会員からの情報収集、フィードバック体制の構築を図る。
- ４．初めての同期会開催およびその一環となる新成人の集い開催を支援する。

第４．会報発行、広報活動の充実

- １．会報６５号を令和３年１０月１日目標に発行する。
- ２．会報、ホームページへの投稿・寄稿を会員に促進し、積極的収集による内容の充実を図る。

第５．総会及びホームカミングデー

- １．令和３年１０月３０日（土）に総会の開催を予定する。
- ２．総会開催前にホームカミングデー開催を予定する。

第６．財政管理

- １．会報発送費削減のため、会費納入実績に応じた限定発送を継続する。
- ２．同期会、総会、評議員会などの場を通じて、会費納入・寄付を呼び掛ける。
- ３．会報未納入者に対する、会費納入協力の方策を検討する。

第７．会員情報の整備

- １．会員情報の整備に向けて、各期会員情報部幹事の活発な活動を促進する。
- ２．高校７４期の名簿を作成し、卒業時に配布する。

第８．母校及びＰＴＡとの連携

- １．母校ＰＴＡと協力して、幅広い母校支援を推進する。
- ２．母校の発展に寄与するため、学校からの要請に迅速に対応し教育支援・部活動を支援する。
- ３．文化祭等様々な学校行事の場を通して、在校生や保護者にいずみ会への理解を広めていく。

第９．人材バンク活動

- １．登録制度を活用して、多彩な人材を発掘し、卒業生の人材情報の充実を図る。
- ２．趣味となるサークル活動の立ち上げを促し、会員相互の交流を図る。

第１０．役員改選準備

令和４年度の改選に向けての準備を行う。